

## 武豊町地域公共交通総合連携計画に基づく事業評価について（中間報告）

### 1．総合連携計画での事業評価内容

#### 事業背景・目的

当該コミュニティバスは、新たな事業であることを鑑み、地域公共交通空白地域の解消が達成されたかという目的に加え、バス事業の普及定着と住民ニーズへの的確な対応を目的とする。

#### 評価指標

##### 指標 1：市街化区域面積に対する基幹・サブルートของバス停カバー面積割合

- ・市街化区域内において、基幹・サブルートของバス停の 300m 圏域がどれだけの面積をカバーしているか、面積カバー率を評価指標とする。
- ・事業目標値：80%

##### 指標 2：乗降者数・収支率の推移にみる必要性評価

- ・事業の必要性、事業の定着を確認するため、期間中における乗降者数と収支率（事業経費に対する運賃収入割合）の推移を確認し、利用者の増加・収支率の向上を目指す。
- ・事業目標値：対前年比プラス

##### 指標 3：利用者満足度の向上

- ・利用者満足度の調査と、それに伴う事業改善により利用者満足度の向上を目指す。
- ・事業目標値：定期的に行うアンケート調査の満足度値の向上

## 2. バス停カバー面積割合の評価（指標1）

市街化区域面積に対して、バス停等公共交通によりどれだけカバーできているか、交通空白地の状況について確認した。

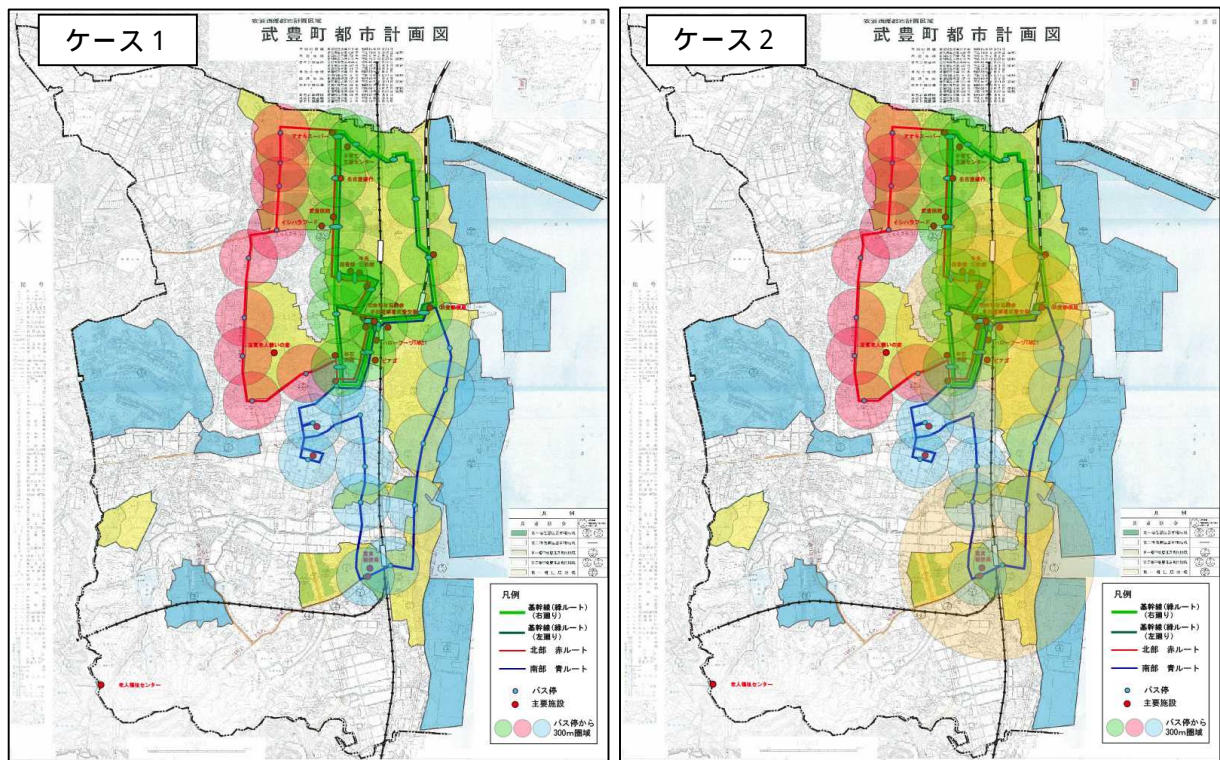
なお、面積算定（求積）には、プランメーターを用いて行い、また、バス停勢圏（半径300m）及び鉄道駅勢圏（特急停車駅：半径1000m、その他500m）は、中部地域公共交通研究会編著「成功するコミュニティバス」における他事例での取組状況をもとに設定した。

### ケース1：バス停のみでのカバー面積割合

- ・ 市街化区域面積  $A = \text{約 } 6,407,366 \text{ m}^2$
- ・ バス停圏域  $B = \text{約 } 4,670,803 \text{ m}^2$
- ・ カバー率  $B / A = 73\%$

### ケース2：鉄道駅を含めた公共交通のカバー面積割合

- ・ 市街化区域面積  $A = \text{約 } 6,407,366 \text{ m}^2$
- ・ 鉄道駅・バス停圏域  $B = \text{約 } 5,912,925 \text{ m}^2$
- ・ カバー率  $B / A = 92\%$



これによると、バス停だけでは、市街化区域面積の約7割しかカバーできていないが、鉄道駅勢圏を考慮（ケース2）すると、約9割のエリアをカバーできている。

指標1の目標値80%については、達成できていると考えることができる。

### 3. 乗降者数等の推移にみる評価（指標2）

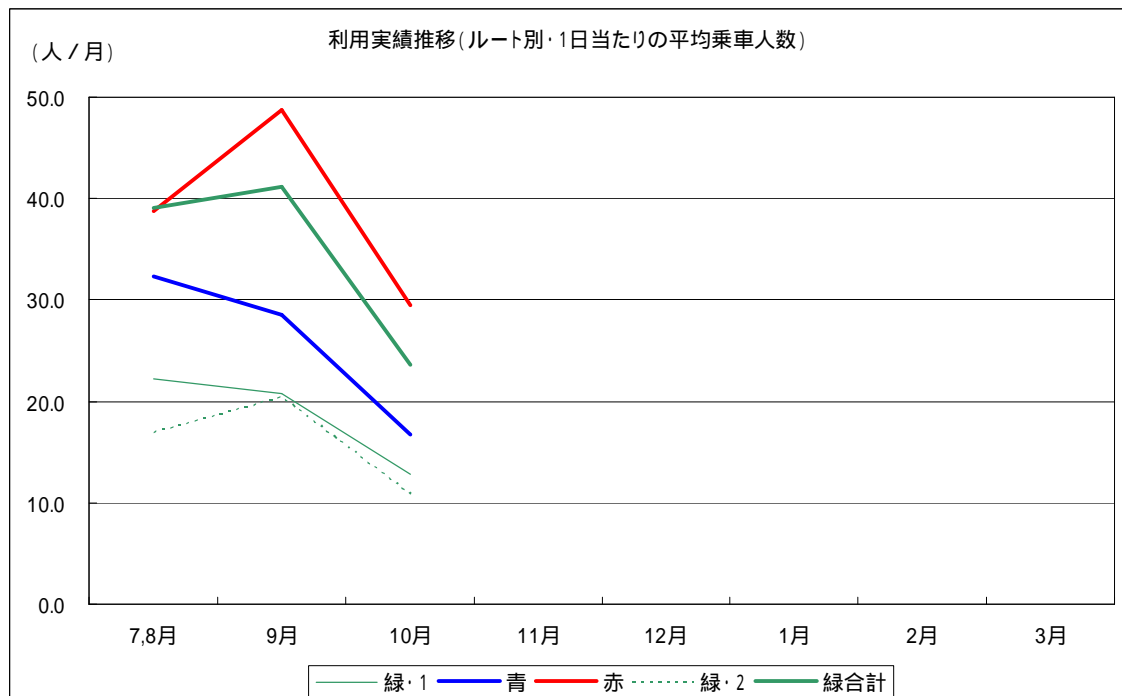
ルート別の各月の1日当たりの平均乗車人数についてみると、下記の通り。

9月までは無料お試し券の配付を行っていたため体験目的の乗車も多かったが、10月は実質的な利用に留まり減少した。お試し券の利用期間である7～9月間の利用実績としては、緑と赤ルートについて乗車数は増加したが、青ルートは減少している。

事業目標値としては、対前年度比プラスを目指すことにしており、今年度10月からの事業スタートであるため、対前年度比較は厳密にはできない。

事業開始以降の推移も、無料お試し券の有効期間の関係から実質的な利用状況の推移は確認できていないため、現時点での評価はできない。引き続き経過確認を行う必要がある。

なお、平成15年の試行運行した時の実績が、1日当たり平均乗車人員35.5人、1便当たり2.2人と比較すると、10月時点の実績（69.9人/3.2人）は大きく上回っており、適切な事業着手ができたものと思われる。



号車		1号車	1号車	2号車	2号車	緑小計	
ルート		緑・1	青	赤	緑・2	緑小計	合計
便数		6	5	6	5	11	22
色							
月当たり1日平均乗車人数(人/日)	7.8月	22.2	32.3	38.8	16.9	39.1	110.1
	9月	20.8	28.5	48.7	20.4	41.2	118.4
	10月	12.8	16.8	29.5	10.8	23.6	69.9
1便当たりの平均乗車人数(人/日・便)	7.8月	3.7	6.5	6.5	3.4	3.6	5.0
	9月	3.5	5.7	8.1	4.1	3.7	5.4
	10月	2.1	3.4	4.9	2.2	2.1	3.2

#### 事業収支率の推移

	運行日数	事業費	運賃収入	収支率	無料券分
7・8月	36	2,032,884	115,300	5.7%	153,300
9月	30	1,694,070	117,100	6.9%	134,400
10月	31	1,750,539	168,100	9.6%	
11月	23	1,298,787	137,400	10.6%	

23日までの集計

#### 4. 利用満足度評価（指標3）

利用者アンケート調査により利用者満足度を確認した。

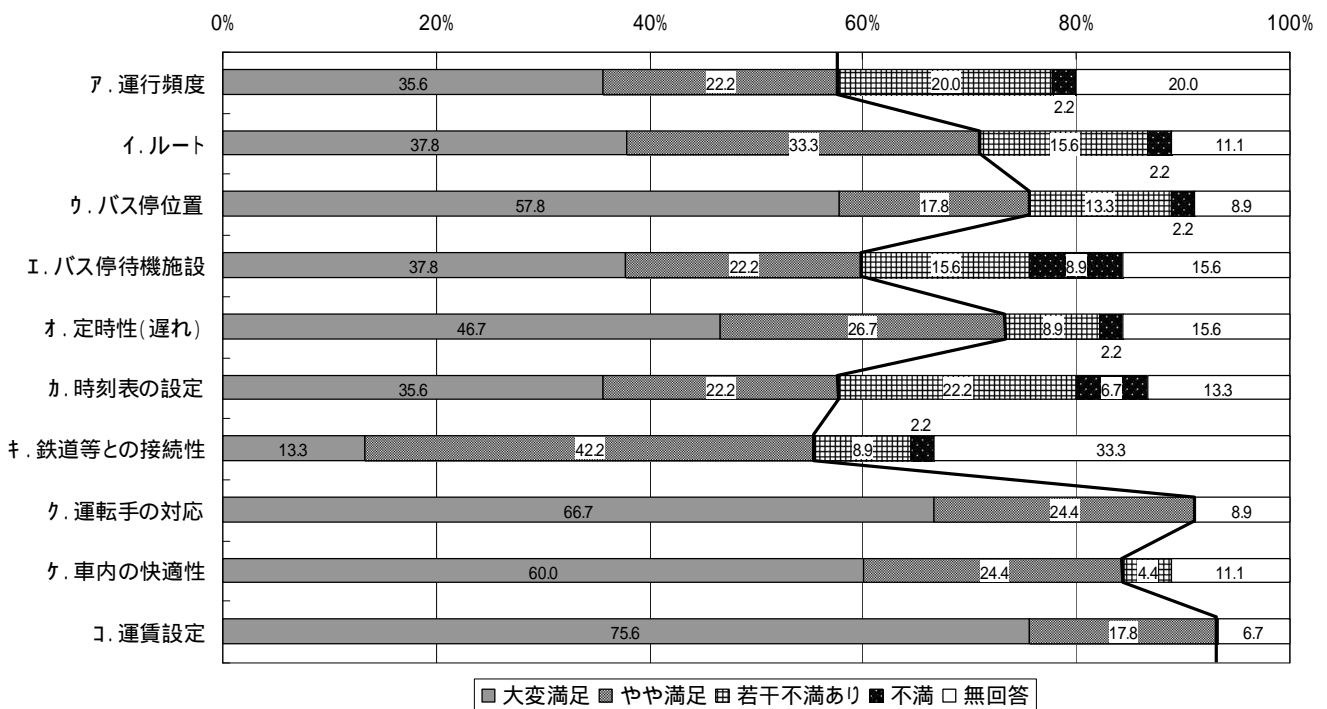
全項目を比較すると、全ての項目で「大変満足、やや満足」との回答が過半数を超えている。

連携計画の評価は、定期的に行う満足度調査結果の対前回比較を想定しているため、現時点では、計画に基づく評価はできないが、初回結果の評価としては、利用者のある程度の満足は得られたと判断できる。

満足度の低い項目に着目すると、「ア．運行頻度」「エ．バス停待機施設」「キ．鉄道等との接続性」「カ．時刻表の設定」等となっており、増便によるダイヤの充実とバス停環境の向上に対してニーズが認められる。

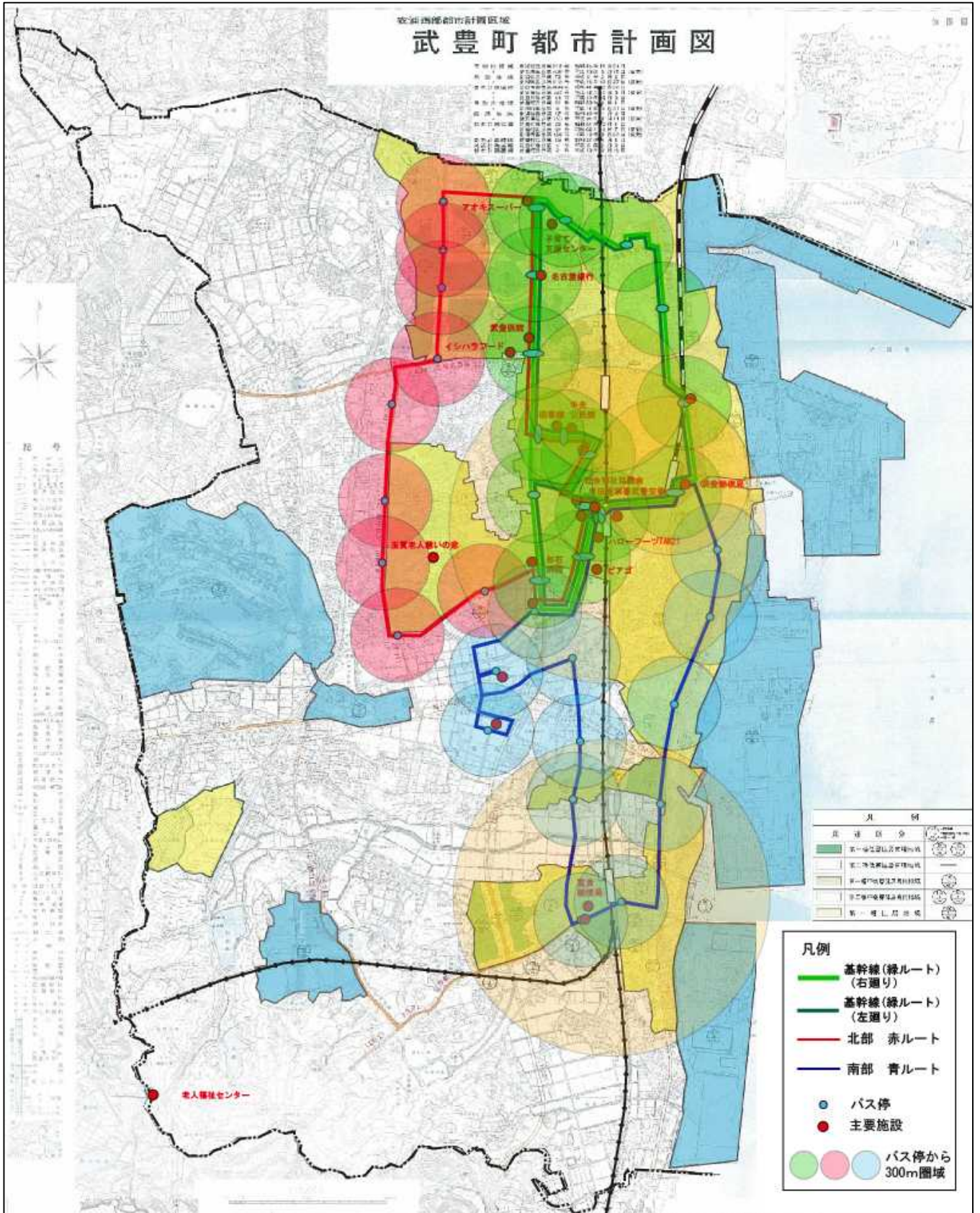
利用者アンケート調査の実施概要

調査対象	武豊町コミュニティバスの利用者
調査方法	配布調査
調査期間	平成22年10月15日（金曜日）10月16日（土曜日）
標本数	45人（配布数108件、回収率42%）

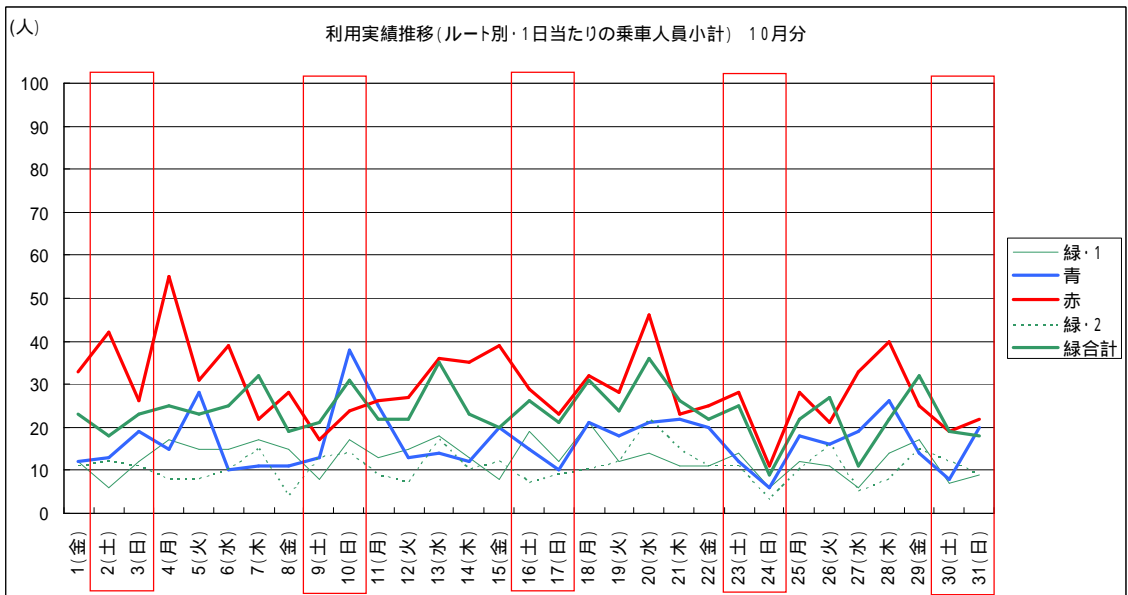
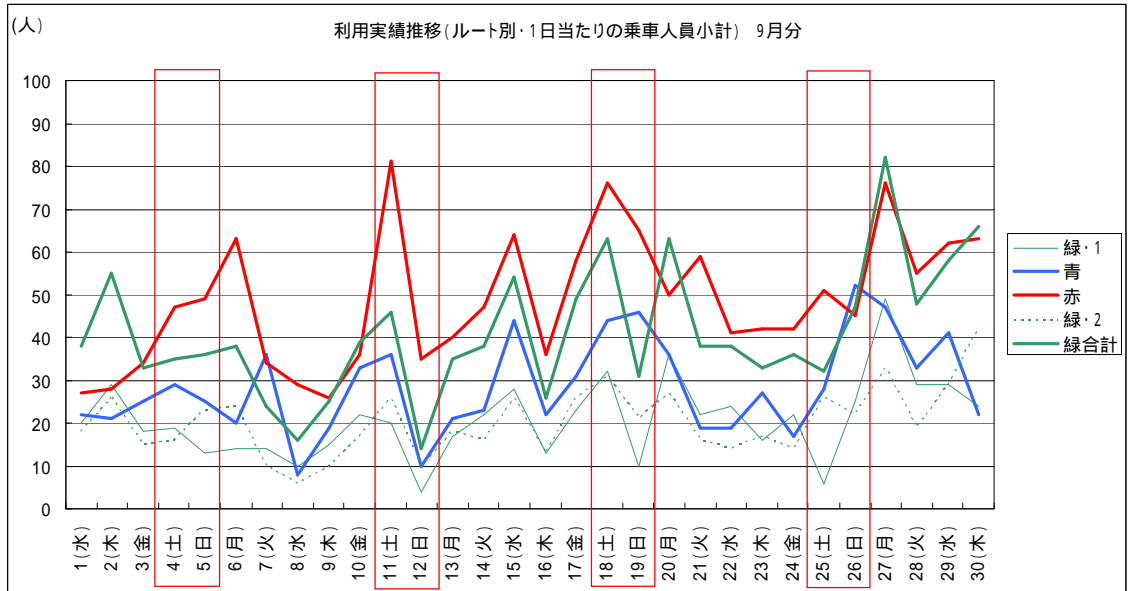
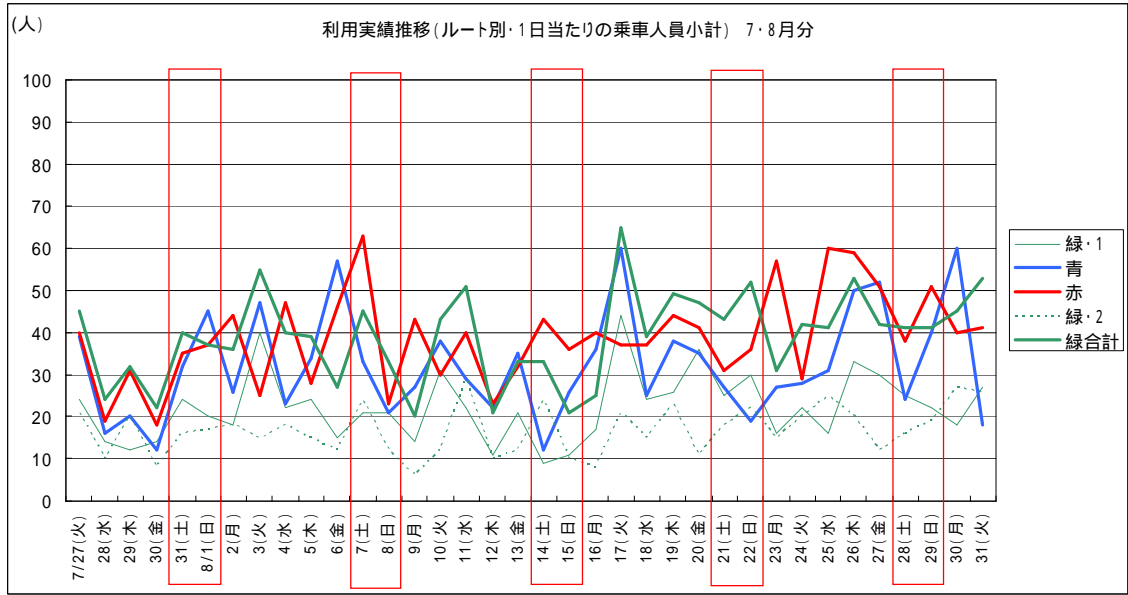




< 参考資料 >



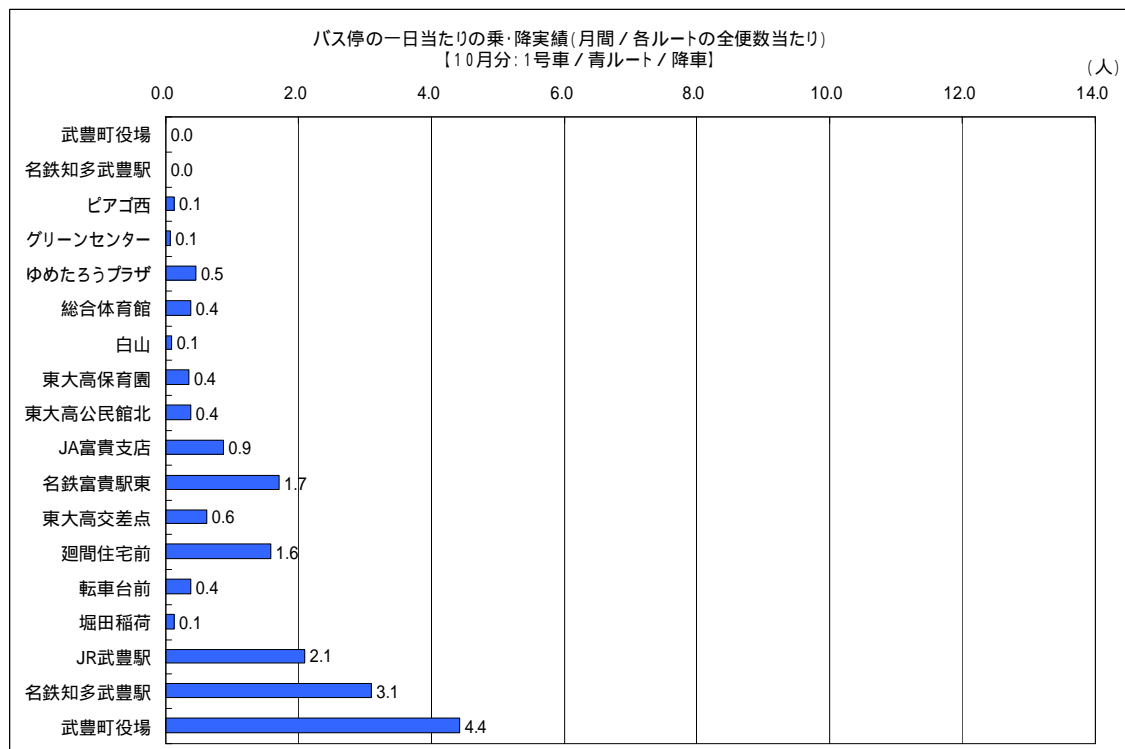
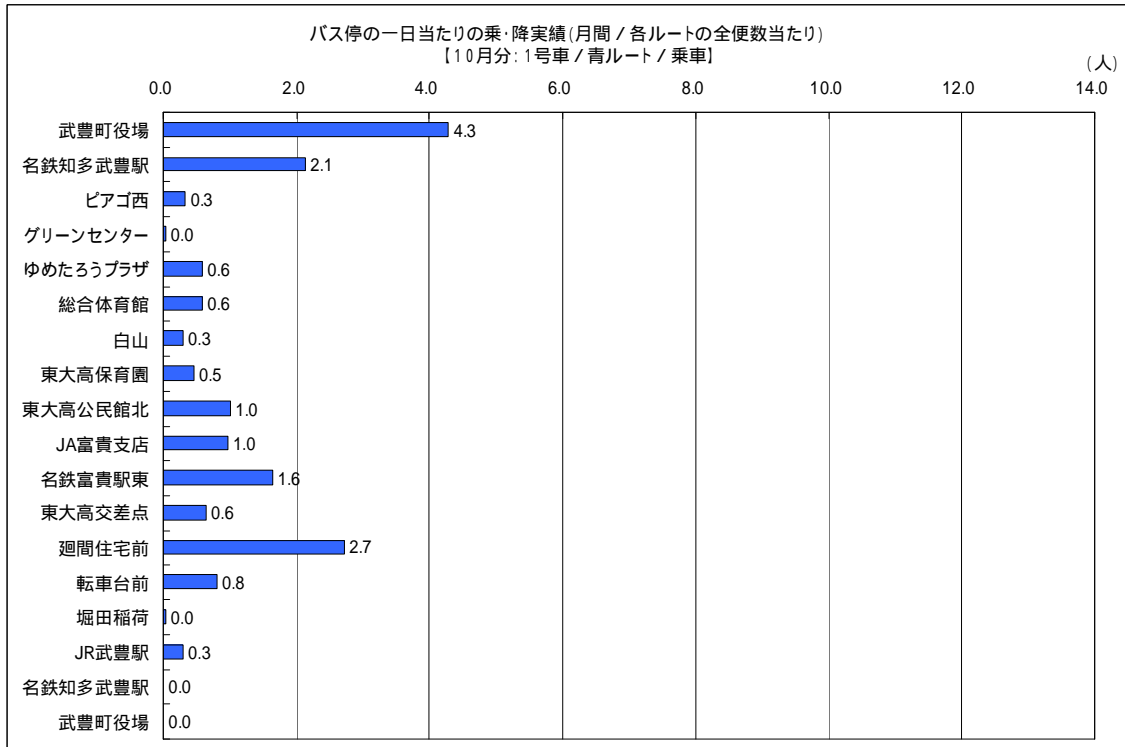
< 参考資料 >



< 参考資料 >

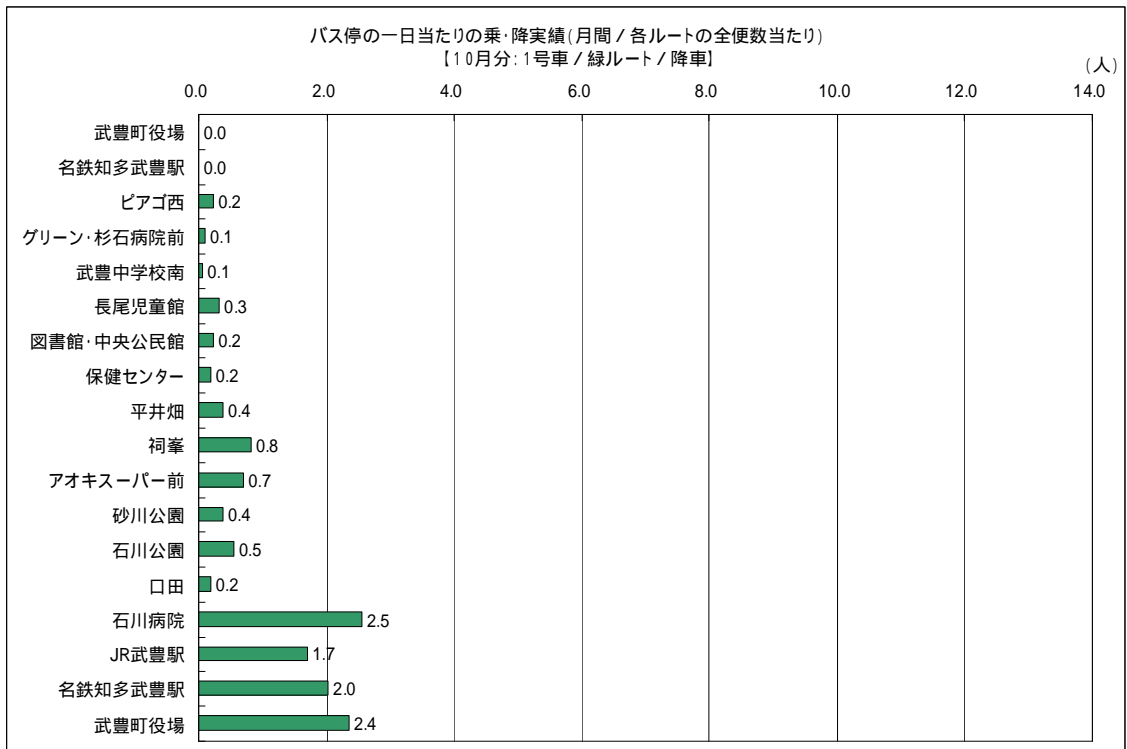
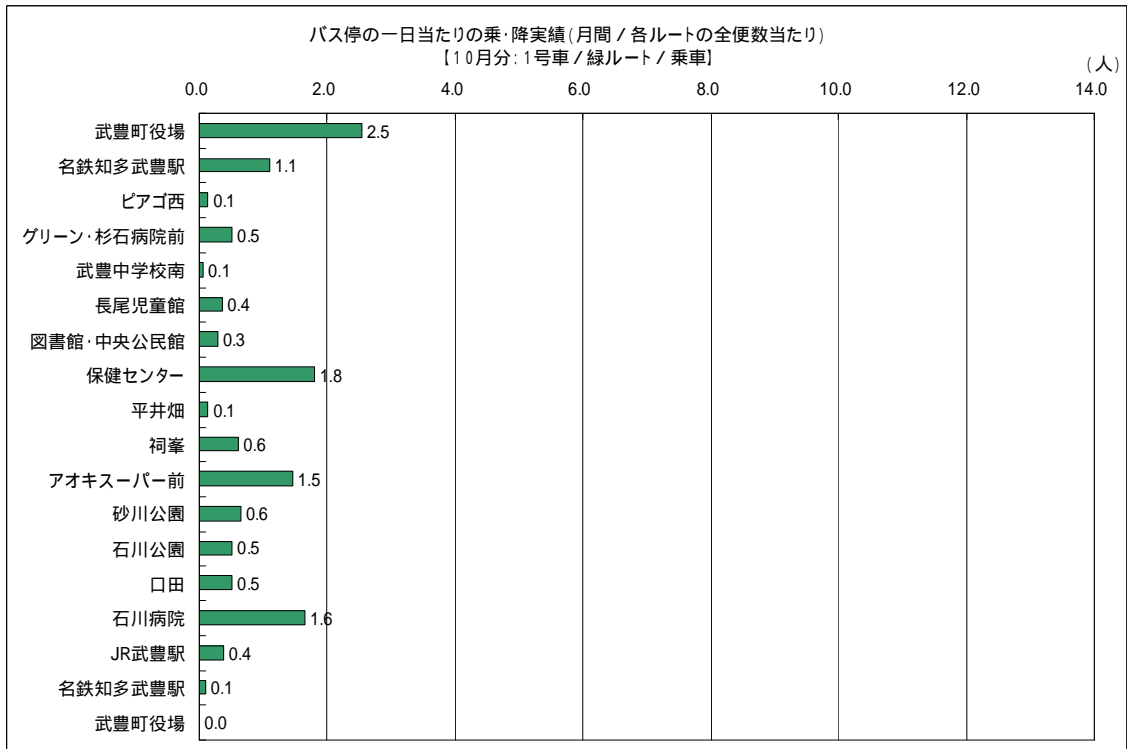
1号車のバス停別乗降状況

青ルート（10月分）



# 1号車のバス停別乗降状況

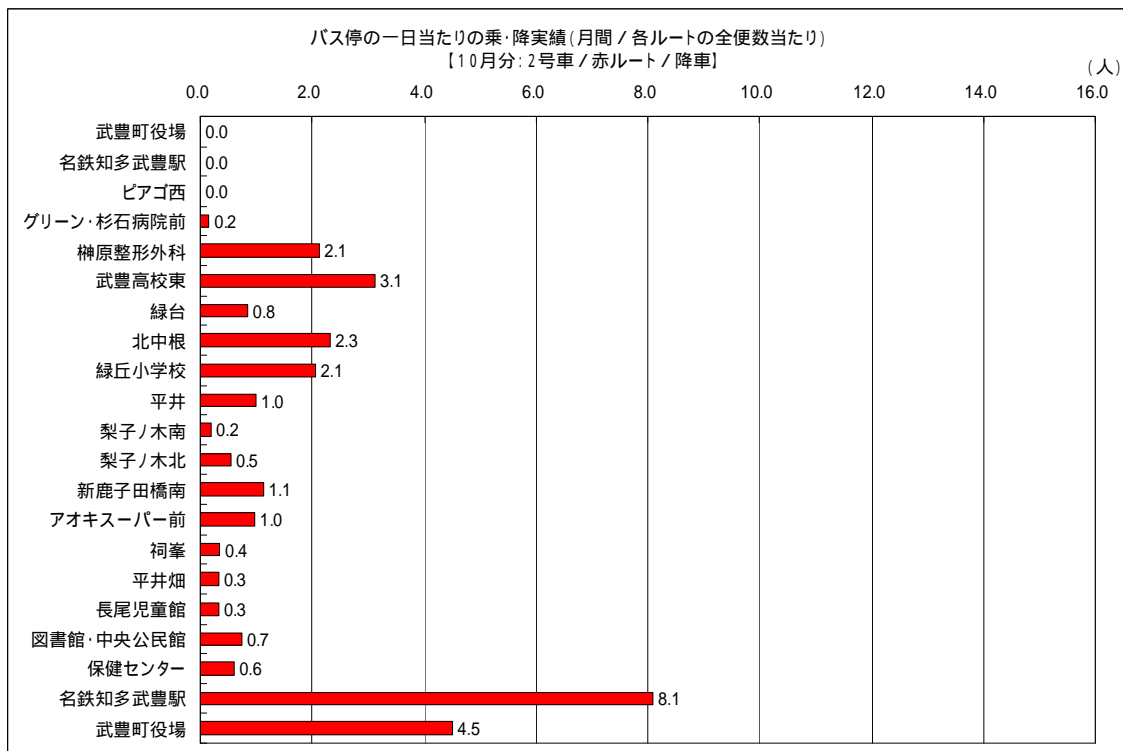
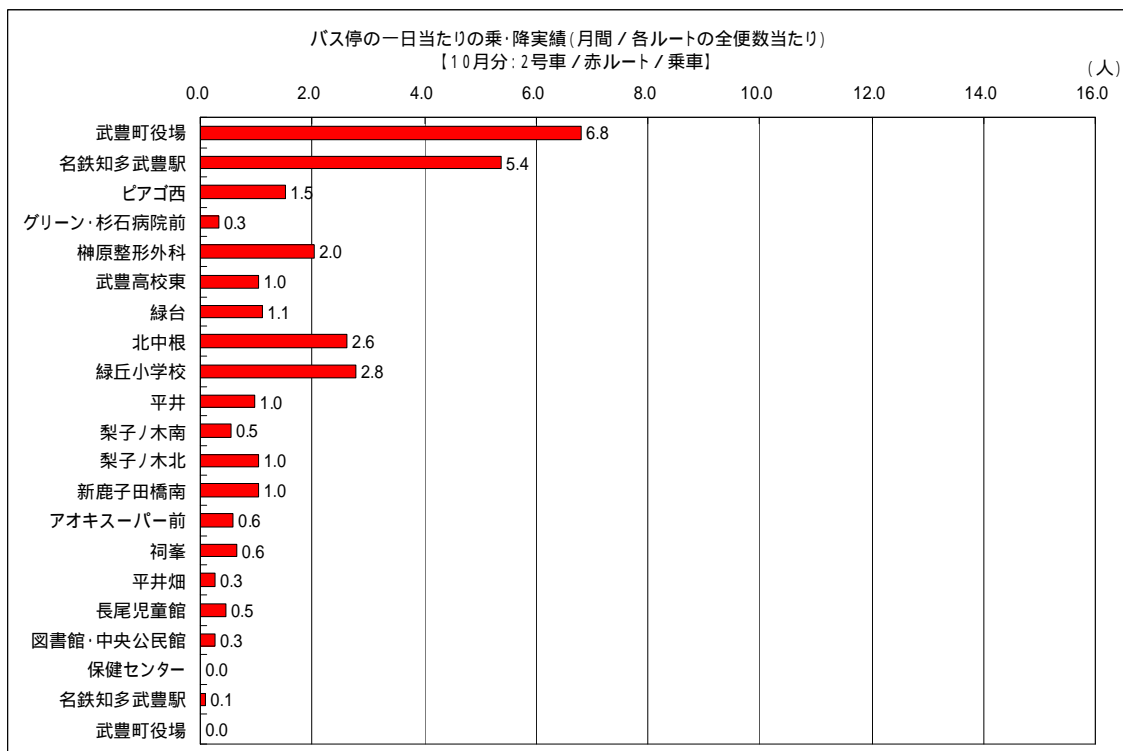
## 緑ルート（10月分）





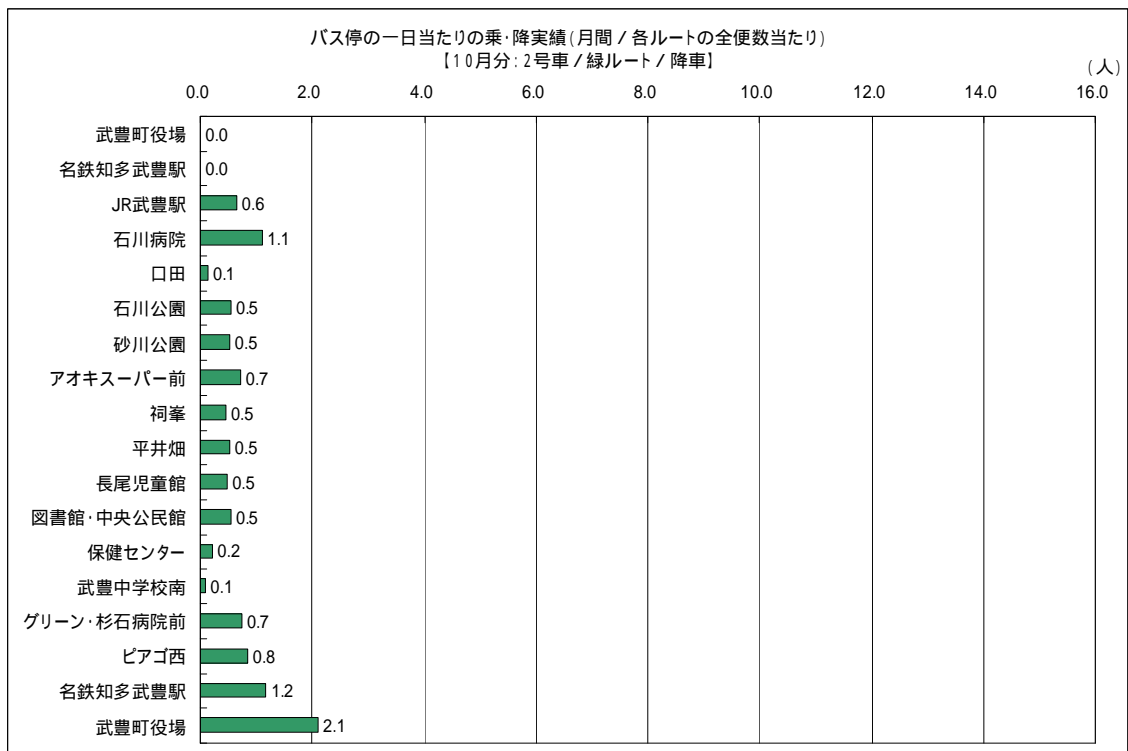
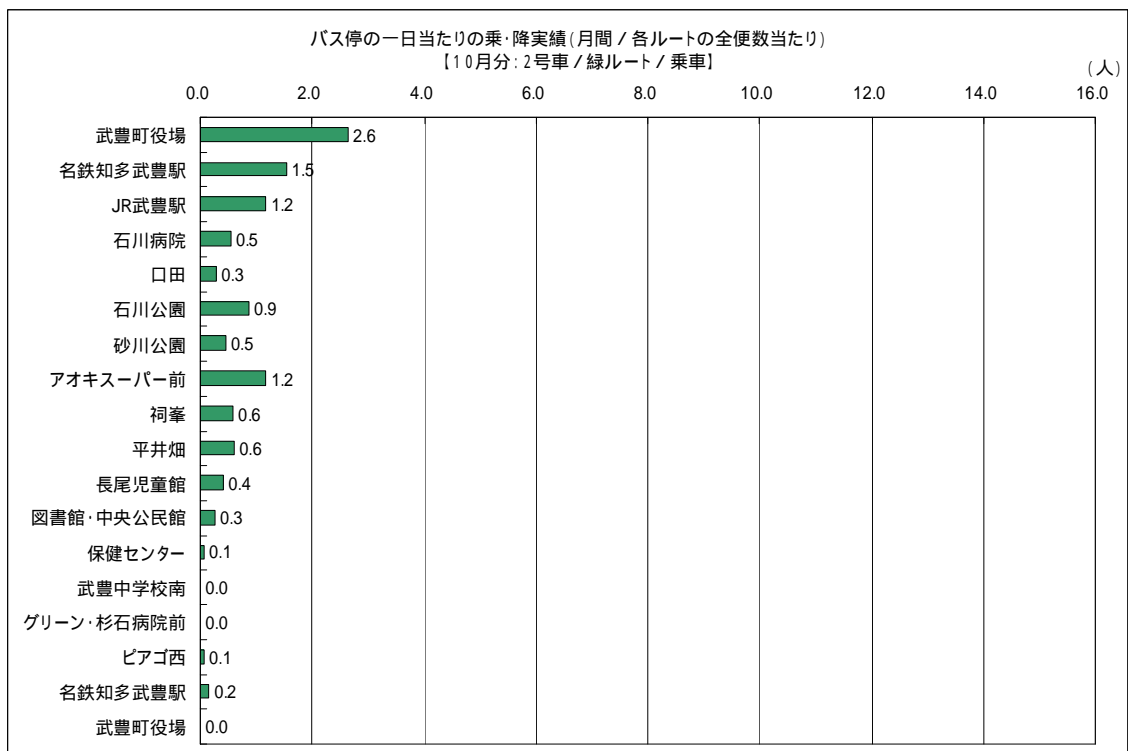
## 2号車のバス停別乗降状況

### 赤ルート（10月分）

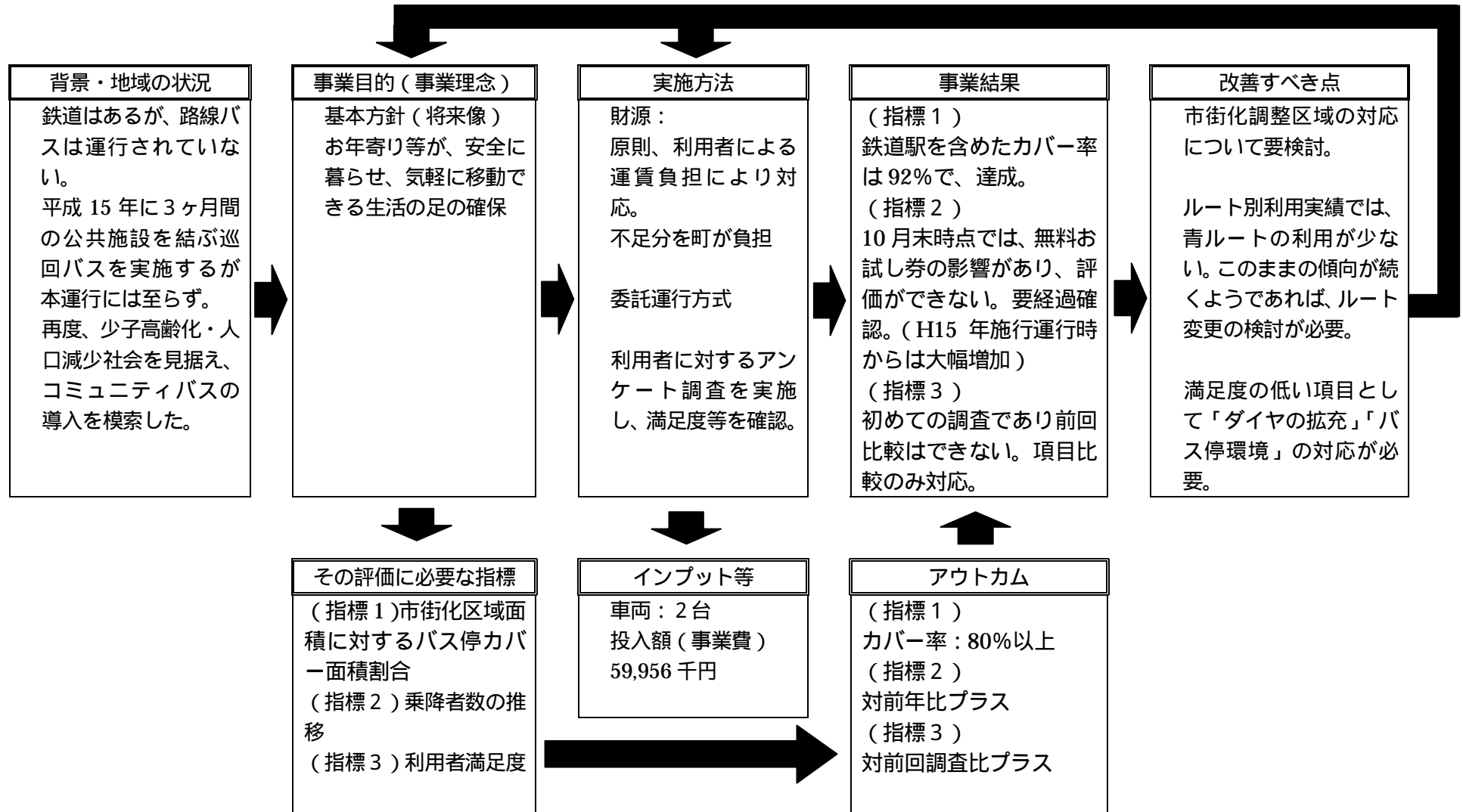


## 2号車のバス停別乗降状況

### 緑ルート（10月分）



コミュニティバス事業評価のプロセスフロー・フォーマットシート



資料：中部運輸局「コミュニティバス等評価プログラム策定調査検討会」会議資料より

